

1	審議会名	図書館協議会
2	日時	平成 28 年 8 月 26 日 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
3	会場	上田情報ライブラリー
4	出席者	中澤会長、新山副会長、山崎委員、大塚委員、小竹委員、横山委員、加藤委員
5	市側出席者	山崎館長、飯島館長、山口次長、土屋次長、木嶋次長、金田係長、嘱託職員内山、土屋係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	3 人 記者 人
8	会議概要作成年月日	28 年 8 月 26 日

協議事項等

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 協議事項
 - (1) 第二次上田市図書館基本構想(素々案)基本理念等についての説明
 - (事務局)
基本目標の重い順から1番とした。
基本目標に新たに として「図書館の施設整備」を加えた。具体的な部分は後日「情報拠点」は上田市の生涯学習基本構想でも使われている。
 - (委員質問)
・「きめ細かなサービスを提供する図書館」で「ネットワークを活かした」という言葉が削除されているがどうしてか。
 - (事務局)
・ネットワークというのは、前回の構想ではエコールの関係に固執していたため、今回の基本構想では幅広い意味もあるためネットワークという言葉削除した。
 - (委員質問)
・ネットワークという言葉は、いろいろな連携も含め使われることなので、一般的には広く使われていると感じる。
 - (事務局)
・「連携」という言葉に変えてを使用している。
 - (委員質問)
・「きめ細かなサービス」という表現は、漠然としている
 - (委員質問)
・「きめ細かなサービス」という言葉は項目とマッチングしないのではない言葉を変えたらどうか
 - (委員質問)
・「きめ細かなサービス」は利用者の視点で言っていると思う。
 - (委員意見)
・取組項目で細かく記載されているので、これでいいのでは。
 - (委員意見)
・取組項目から考えると「積極的にサービスを提供する図書館」・「創造的なサービスを提供する図書館」の方がいいと思う。
 - (事務局)
・「きめ細かなサービスを提供する図書館」を「積極的にサービスを提供する図書館」とします。

(委員質問)

・基本理念については、上位計画とのつながりが大事であり、生涯学習、街づくりとの関係はどうか。

(委員意見)

・基本理念は具体的なことはいらぬのではないか。理想的なことではないか

(委員質問)

・基本目標に生涯学習があるので理念には入れる必要がない。

(事務局)

・基本項目を一つ加えたがこの点はどうか。

(委員質問)

・地域の特色の「地域」とはどういう範囲か。

(事務局)

・地域図書館の範囲、丸子・真田というような地域です。

(委員質問)

・「取組項目 10 地域図書館の役割の検討 P20 の今後」で地域図書館の部分をもう少しわかりやすい表現にしたほうがいい。

(委員質問)

・P34 の図 高校・大学が入っていないがどうなのか。

(事務局)

・高校は入っていない。長野大学は、サービスポイントなので入っていない。

(2) 指定管理者制度・民間委託・外部人材の登用について

(委員質問)

・「民間委託等については、市民サービスの向上等を考慮して検討していきます。」となっているが、検討していくという前向きな方向だが、一部の委託であっても図書館の業務の一体性が損なわれるので、好ましくないと考える。

(事務局)

・指定管理は包括的に図書館の業務を委託してしまうもので、民間委託とは、図書館の業務の一部の委託のことである。
現在も、移動図書館車・エコールの回送など民間委託している。

(委員質問)

・移動図書館も民間委託にはそぐわないと思う。考え方としては、委託の方向に進まないように「検討していく」という言葉は入れない方がいいのではないか。

(委員意見)

・「検討していく」なので委託にしていこうというわけではないので、この表現でよいのではないか。

(委員質問)

・図書館としては、指定管理・委託を考えているのか。

(事務局)

・特には考えていない。

(事務局)

・指定管理も民間委託に含まれ紛らわしいので、P31 の表現については「一部業務の民間委託については、市民サービスの向上等を考慮して検討していきます。」と修正したい。
「協働による地域を目指した図書館」とあるように、さらに市民協働を進めていくこととすると、指定管理は難しいと考える。

(委員質問)

・基本項目 の「地域の特色を生かした個性ある図書館」とありその取組項目 10 では「地域の特性を活かした図書館サービスの提供」とある「特色」と「特性」はどうなのか。

(委員意見)

・統一したほうがいいと思う。「特性」がいいのではないか

(事務局)

・「特性」に修正します。

(3) 中央図書館・地域図書館・エコール(機能と役割分担)について

(事務局)

・平成24年11月26日の図書館協議会の答申の「3 上田市の図書館網構想 (1) 図書館網の策定」の中で、図書館は並列ではなく、各図書館役割分担を考慮し、図書館全体を総括する中央図書館、地域の特色を有する「地域図書館」を配慮した図書館網を構想する必要がある。としている。現在は並列館となっている。

県内の他市状況も踏まえ、メリット・デメリットを考慮し、中央館・地域館の役割分担をした図書館運営としたい。

(委員質問)

・メリットとして、「限られた予算の中で、無駄のない予算執行ができる。」とは、具体的にはどういうことか。

(事務局)

・統一的な選書基準ができて、資料収集が効率的にできる。

(委員質問)

・ベストセラーなどの購入も中央館で全部するのか

(事務局)

・現在は、冊数など各館で単独で購入していたが、選書会議を設け、統一的な基準で購入するので無駄がない。

(委員質問)

・地域図書館の特色や地域性の埋没にならないか。

(事務局)

・中央図書館に過度に機能を集中するとそういうこともありうるので、どの程度機能を集中させるかは今後の課題となる。

(委員意見)

・基本目標に「地域の特性を活かした個性ある図書館」と目標を掲げているので、抑えられるのではないか。

(委員質問)

・現在は、図書購入も各館で行っているが、運営の中では行うことは難しいことなのですか。

(事務局)

・並列館なので行っていない。
全部を一括して行うのではなく地域の独自性には柔軟性をもたせる。

(委員質問)

・メリットの「図書館業務の高度化・専門化に対応した、体系的な人材育成が可能となる。」とはどういうことか

(事務局)

・中央図書館主導による各図書館の合同研修会の開催も可能となる。

(委員質問)

・正規職員の体制は考えているのか。中央図書館の機能を考慮した職員体制が必要ではないか。

(事務局)

・素々案の中で「取組項目7の今後」、「第7章の今後の図書館運営 3 図書館司書」のなかでも述べている。職員体制については、人事のことなので、構想のなかにははっきりと記載はできない。

(委員質問)

・職員体制については、十分確保して欲しい。

(事務局)

・エコールの現状と課題は、ICタグのメリットが最大限発揮されていない、小中学校と公共図書館の活用が十分でない、地域の高等学校大学とのネットワーク活用による図書資料の相互利用がされていない。インターネット予約の拡大はされつつあるが、利用が不十分であるり、様々

な取り組みを検討する必要がある

(委員質問)

- ・ P 3 8 の表にエコールでの蔵書数も載せたらどうか。

(事務局)

- ・ エコール全体の運営については、上田地域広域連合で行っている。上田地域広域連合での会議には館長も出席し、協議している。その中でエコール全体としての考え方が決まってくる。
- ・ エコールの蔵書数は、資料編に参考として掲載したい。

次回は9月23日(金)となります。

4 閉会